

第8回 肝属川水防災意識社会再構築協議会

令和4年2月25日
大隅河川国道事務所

肝属川水防災意識社会再構築協議会の取り組み

【取り組みに至る経緯】

平成27年9月関東・東北豪雨災害をうけ、「水防災意識社会再構築ビジョン」として、すべての直轄河川とその沿川市町村において、概ね5年間を目途に水防災意識社会を再構築することを目的に発足。

H28. 6. 2 肝属川水防災意識社会再構築協議会（仮称）

規約を策定

取組目標案を確認

H28. 8. 16 第2回 肝属川水防災意識社会再構築協議会

概ね5年間で取り組む事項を「減災に係る取組方針」として策定

H29. 5. 29 第3回 肝属川水防災意識社会再構築協議会

H30. 5. 28 第4回 肝属川水防災意識社会再構築協議会

R1. 6. 18 第5回 肝属川水防災意識社会再構築協議会

R2. 5 第6回 肝属川水防災意識社会再構築協議会（書面開催）

R3. 3. 22 第7回 肝属川水防災意識社会再構築協議会
第2回 肝属川水系流域治水協議会

R4. 2. 25 第8回 肝属川水防災意識社会再構築協議会
第3回 肝属川水系流域治水協議会
第2回 肝属川水系ダム洪水調節機能協議会

H28～R2の取組状況および今後の取組項目について確認

・関係機関
が取組方針
に沿って対
策を実施

★流域治水プロジェクトにおいて“被害の軽減、早期復旧・復興のための対策”に位置付けられている項目

水防災意識社会再構築協議会での取組項目(今年度以降の取組案)

種別	項目	事項	No	項目	状況	実施機関(H28時点)						備考・確認事項等				
						大隅河川国道	鹿児島県	気象台	鹿屋市	肝付町	東串良町					
ハード対策	-	洪水を安全に流すためのハード対策	1	流下能力対策(河道掘削等)	必要に応じて実施	○	○									
			2	浸透対策(シラス堤防の質的強化)	継続(未完)	○										
		危機管理型ハード対策	3	堤防川裏法尻の補強	必要に応じて実施	○										
			4	地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置	必要に応じて実施	○										
		避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備	5	急激な水位上昇を把握するため、上流部に設置する水位計の検討・設置	必要に応じて実施	○							★			
			6	きめ細やかな河川情報を提供するためリスクの高い箇所への河川カメラもしくは簡易水位計などの検討・設置	必要に応じて実施	○	○					○	★			
			7	適切な水防活動等を目的とした、堤防拡幅の検討・整備	必要に応じて実施	○										
			8	緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画に基づく釜場の検討・設置	完了	○										
		施設の確実な機能確保	9	洪水時に適切な施設運用ができるよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施	必要に応じて実施	○	○									
			10	庁舎等の防災拠点施設の機能確保を図るための耐水化等の検討	継続(未完)	○	○		○	○						
ソフト対策	①地域住民が的確に避難行動を行えるように、迅速かつ的確でわかりやすい情報発信する取組	防災情報の確実な伝達	1	避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及	継続(未完)					○	○	○	★	・鹿屋市(H30時点:90%以上)、東串良町(同:80%)の現時点の進捗率は?		
			2	避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びプッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及	完了	○				○	○			★	・プッシュ型情報発信の状況は?	
		適切なタイミングでの情報発信	3	確実な避難を促すための、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し	継続(未完)	○	○	○	○	○	○	○		★		
			4	洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結	完了	○										
		視覚的にわかりやすい情報発信	5	簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供	必要に応じて実施	○	○					○				
			6	地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討	必要に応じて実施	○										
		浸水区域等のリスク情報の周知	7	地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	継続(未完)	○	○								★	
			8	地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	継続(未完)	○	○			○	○	○	○		★	・想定最大規模については作成済みか?
			9	地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	継続(未完)	○	○	○	○	○	○	○			★	・代表地区では検討済みか? ・今後、どの程度の展開を想定しているか?
	②地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育や自主防災組織支援等に関する取組	水防災を意識する社会の醸成のための支援	10	河川協力団体と連携した住民目線での啓発活動の実施	完了	○	○	○	○	○	○	○				
			11	教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施	完了	○	○	○	○	○	○	○				
			12	地域住民が安全に避難できるよう、マイハザードマップ検討・作成の支援	継続(未完)	○	○	○	○	○	○	○		★		
		水防災を意識する社会の醸成のための支援	13	地域住民が安全に避難できるよう、地区防災計画の推進・支援	継続(未完)	○	○	○	○	○	○	○		★		
			14	水防災をテーマとしたパネル展示等の啓発活動の実施	完了	○	○	○	○	○	○	○				
			15	浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるとまちごとハザードマップ」の実施・支援	継続(未完)	○	○	○	○	○	○	○		★		
		自主防災組織等への支援	16	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	完了	○			○	○	○	○				
			17	災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援	完了	○	○	○	○	○	○	○				
③地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防災活動が行える訓練などのソフト対策に関する取組	関係機関及び地域住民と実施する訓練等	18	防災担当職員の防災技術力向上と流域内の関係機関の連携強化を目的とした防災訓練や勉強会の実施	完了	○	○	○	○	○	○	○					
		19	水防技術伝承のための水防団(消防団)員の防災訓練等の実施	完了	○	○			○	○	○					
		20	災害時に迅速な避難誘導が出来るよう、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練の実施	継続(未完)	○				○	○	○		★			
		21	浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が最小となるための自主防災力向上のための支援	継続(未完)	○				○	○	○		★			
	確実な水防活動への支援	22	適切な水防団(消防団)人員の確保	完了					○	○	○					
		23	水防協力協定等企業(地元建設業等)と連携した水防活動の実施	完了		○			○	○	○					
		24	適切な水防活動を行うための、保有水防資機材の定期的な点検確認と情報共有	完了		○	○			○	○	○				
		25	堤防の変状等河川巡視結果をリアルタイムで共有するためのシステム検討	完了		○				○	○	○				
		26	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	継続(未完)		○				○	○	○				
		27	緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	完了		○				○	○	○				

※“完了”と記載した取組については、今後も継続して実施していくべきではあるが、概ねの方向性等については確認済みであり、今後は本協議会の対象外とする取組である。